



## 土曜学習「わがまち 多治見大好き講座」

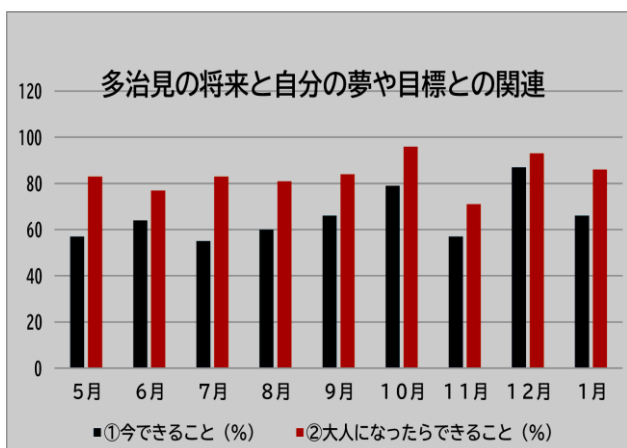
### R7 成果と課題

#### 1 土曜学習のねらい

自立的・継続的に多治見に愛着をもち、多治見がよくなることを願い、それを自分の夢や目標の一つとして掲げ、行動できる人材を増やしていくことを目指します。

特に、R7は、将来の夢や目標を講座内容に関連しながらイメージできるように問いかけました。

#### 2 実施直後のアンケートより 成果と課題



- ①将来の夢のために、今自分にできることを考えた  
…66%
- ②自分が大人になった時の夢や目標をイメージできた  
…84%

多治見と関連させながら夢や目標をもち、7~8割が自分にできることをイメージしています。さらにどこかで見届け、励ますことができるかと継続するのではないのでしょうか？

そこで、R8では自立的・継続的に高まるために、精神的自立と社会的自立を目指します。その手立てとして以下を実施します。

- A. 精神的自立の手段として、自分の意志で物事を判断し、自分の責任で行動できるように、講座の最初の活動班交流の時に目標を決め、達成するために何をどう頑張るかを考えます。
  - B. 社会的自立を目指す手段として、人間関係の質の向上を目指し、共感力を高めるため、自分の考えや思いを伝える場を設定します。
- また、班活動が活発になるような題材、講座の内容を工夫します。

今年度も学校での声掛け、広報の継続をお願いします。

## 令和8年度 土曜学習(ふるさと多治見大好き講座)方針と重点

背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和8年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する 目標 (アウトカム)
<p>H12をピークに人口減少・少子化となり、持続可能な社会の構築が課題である。</p> <p>土曜学習講座参加者によるアンケート結果では、R6までに、多治見はよい所だと思ふ・多治見がもっとよくなるとよいと思ふ…98%、自分も多治見のために何かしたい…90%となり、自分も多治見の一員であることを実感し、多治見への愛着が湧いた。また、R6の全国学調「地域をよくするために何かしてみたい」と考える児童は全国平均になり、中学校では全国平均を5%上回った。しかし、将来の夢や目標をもっている児童が77%で、県や全国平均の80%越えに対して低い。</p> <p>そこで、R7では、将来の夢や目標を講座内容に関連しながらイメージできるように問いかけた。その結果、自分が大人になった時の夢や目標をイメージできた。84%となり、全国平均並みとなった。</p> <p>さらに、自立的・継続的に、多治見に愛着をもち、多治見がよくなることを願い、それを自分の夢や目標の一つとして掲げ、行動できる人材を増やしていきたい。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校の働き方改革の推進 多治見市内の全小中学校の代表として、地域学校協働活動推進員が地域と調整する。</li> <li>2. 地域・学校・家庭が連携・協働して、自立的・継続的に、多治見に愛着をもち、多治見がよくなることを願い、それを自分の夢や目標の一つとして掲げ、行動できる人材を増やすための講座の題材・講座の内容の工夫</li> <li>3. 課題解決を意識した郷土学習の推進             <ul style="list-style-type: none"> <li>①ふるさと多治見について地域資源を理解し、その魅力を、体験を通して地域住民から学ぶ。</li> <li>②ふるさと多治見の魅力を継続・発展させるため、現状を知り、課題を明確にする。</li> <li>③縦割りの少人数グループを構成し、中学生ボランティアをリーダーに、退職教員から成る土曜学習サポーターを補助者として温かいつながりを築く。</li> <li>④自分も地域の一員であることを実感し、多治見の魅力や課題を「自分事」として感じるようにする。</li> <li>⑤将来多治見がどうなっていてほしいか、夢(理想像)を考える。</li> <li>⑥⑤のために今と将来にわたっての両面から自分にできることは何かを考える。</li> </ul> </li> </ol>	<p>・地域・学校・家庭が連携・協働して、自立的・継続的に、多治見に愛着をもち、多治見がよくなることを願い、それを自分の夢や目標の一つとして掲げ、行動できる人材を増やす。</p>